

改訂日 2025/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	トクヤマリベースクリーナー
供給者の会社名称	株式会社トクヤマデンタル
住所	〒314-0255 茨城県神栖市砂山26
担当部門	品質統括室 品質保証グループ
電話番号	0479-46-4708
FAX番号	0479-46-3568
緊急連絡電話番号	TEL: 0479-46-4708 FAX: 0479-46-3568
推奨用途	歯科用
使用上の制限	推奨用途以外への使用を禁止する

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト);区分 4 皮膚腐食性/皮膚刺激性;区分1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性;区分 1 生殖毒性;区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露);区分3 気道刺激性
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性);区分3 水生環境有害性 長期(慢性);区分3 *注意なきGHS分類区分は、区分に該当しない、分類できないまたはデータなし。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
吸入すると有害
呼吸器への刺激の おそれ
生殖機能又は 胎児への 影響の おそれ
長期継続的 影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

応急措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

混合物
抗菌剤(カテキン)
酵素
界面活性剤(アルファオレフィンスルホン酸塩)
発泡剤(重炭酸塩、クエン酸、炭酸塩)
結合剤
流動改善剤

色素

酸素系漂白剤（過硫酸塩）

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

多量の水又は牛乳、生卵を飲ませる。

（意識のない場合は口から何も与えてはならない。）

医師の診断を速やかに受けさせること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合

医師の診断／手当を受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水、二酸化炭素、粉末、乾燥砂など

火災時の特有の危険有害性

この製品自体は可燃性でないが、火災等の熱により分解して酸素ガスを発生して火災を助長するおそれがある。

特有の消火方法

可能であれば容器を安全な場所へ移動する。

移動不可能な場合は、容器及び周辺に注水して冷却する。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

粉塵が飛散した場合は燃える可能性があるため、消火活動は、可能な限り風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

消火作業では、発生するガスやヒュームに触れたり吸い込まないように保護具を適切に着用する。

6. 漏出時の措置

一般

* 通常使用の範囲では、こぼれた製品を集めて多量の水に溶かして廃棄すればよいが、大量の製品を一度に取り扱う場合においては下記の注意事項に従って処置を行うこと。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出防止、除害などの作業は、必ず、保護具（防塵マスク、保護手袋、保護眼鏡など）を着用する。

環境に対する注意事項

水分を吸収した製品は、滑り易いので注意する。

流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起さないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

付近の着火源となるものを取り除く。

漏出したものをすくいとり、または掃き集めるなど、粉塵の飛散しない方法で空容器に回収する。

残留物は真空で吸い取る等して、粉塵の飛散しない方法で取り除く。

残留分が極少量の場合は、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

一般		* 通常は使用上の注意に従って使用する限り問題が発生するおそれはないが、大量の製品を一度に取り扱う場合においては下記の注意事項に従うこと。
取扱い	技術的対策	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の 局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱注意事項	火気を近づけない。 粉塵が滞留すると爆発の恐れがある。 紙袋が破損しないように、水濡れや乱暴な取扱いは避ける。 環境への放出を避けること。
保管	安全な保管条件	取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。 高温、多湿の場所を避け、通気の良い屋内で密封保管する。 高温多湿下で長期間保管することにより着色するおそれがある。 吸湿すると品質劣化を起こす。吸湿しないように注意する。
	包装容器材料	製品使用容器に準ずる。
8. ばく露防止及び保護措置		
一般		* 通常は使用上の注意に従って使用する限り問題が発生するおそれはないが、大量の製品を一度に取り扱う場合においては下記の保護措置を取ることが望ましい。
設備対策		工程の密閉化、局所排気その他の設備対策を使用する。 高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは換気装置を設置する。この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 必要に応じて個人用の眼の保護具を使用すること。 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		固体
形状		丸いタブレット状
色		白～薄青色
臭い		ミント系の香り
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界 下限		データなし
／可燃限界 上限		データなし
引火点		データなし

自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	中性（製品を 水に 溶解したとき）
動粘性率	データなし
溶解度	水によく溶ける。
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い条件において安定であるが、強い衝撃や高温下で反応する可能性もある。 水と反応して、酸素ガス、水分（水蒸気）、および熱を発生する。 分解時には酸素ガス、水分（水蒸気）および熱を発生する。 熱がこもると分解が加速され、密閉容器では破裂することがある。
避けるべき条件	粉塵の拡散、加熱、衝撃・摩擦、可燃物、火花・裸火、強酸化剤

11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入	ラット LD50 2,320mg/kg データ不足のため分類できない。 （気体） GHS定義による気体ではない。 （蒸気） データ不足のため分類できない。 （粉じん・ミスト） JISZ7252の計算方法：吸入すると有害 分類できない。 JISZ7252の計算方法：重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 分類できない。 分類できない。 分類できない。 分類できない。 （生殖毒性） JISZ7252の計算方法：生殖機能又は胎児への影響のおそれ （生殖毒性・授乳影響） データ不足のため分類できない。 JISZ7252の計算方法：呼吸器への刺激のおそれ 分類できない。 分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		
呼吸器感作性		
皮膚感作性		
生殖細胞変異原性		
発がん性		
生殖毒性		
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		
誤えん有害性		

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	JISZ7252の計算方法：水生生物に有害
水生環境有害性 長期（慢性）	JISZ7252の計算方法：長期継続的影響により水生生物に有害
生態毒性	（甲殻類 ミジンコ）EC50 26mg/L (48h)
残留性・分解性	データなし（分解性はある）
生体蓄積性	データなし

